

れる新しい「ミサの式次第」は、習慣化された私たちにとって大きなチャレンジとなるが、全世界でほぼ統一されたラテン語の規範版に従った「ミサ式次第」は、全世界の人々の霊的に、そして言語としても一致に近づき、聖霊の働きを強く感じるミサになると信じている。

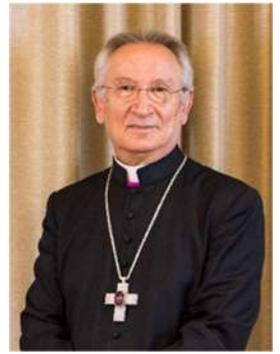
今年10月より各教区の司祭は随時研修を受けて、その理解を深めることとなった。札幌教区においても10月と11月の司祭の集まりの中で「ミサの式次第と奉献文」の理解を深めることになっている。特に11月には司教協議会の典礼委員を招き、研修を受けることになっている。

10月中旬から司祭用の「ミサの式次第と奉献文」のパンフレットが中央協議会より出版され、それに基づき準備を行い、会衆用の「ミサの式次第」はカトリック書籍を扱う各出版社を通して販売される。この販売を待って、教区内では随時研修や“練習”を始め、来年の待降節に間に合うように準備を進める必要がある。会衆用「ミサ式次第」は来秋になる予定とのこと。札幌教区としても互いに学びあいながら新しいミサ式次第の豊かさに触れていくことができればと願っている。

(札幌教区事務局長 松村 繁彦)

新教皇大使に

レオ・ボツカルディ大司教



教皇フランシスコは3月11日付で新駐日教皇大使として、イタリア出身のレオ・ボツカルディ大司教 (His Excellency Monsignor Leo Boccardi) を任命した。

大使は1953年4月15日、イタリアのサンマルティノ・イン・ペンシリス生まれ。1979年6月24日、司祭叙階。神学博士。1987年から教皇庁の外交活動を開始し、ウガンダ、パプアニューギニア、ベルギー、教皇庁国務省外務局で働き、国連の国際原子力機関 (IAEA) や欧州安保協力機構 (OSCE)、包括的核実験禁止条約準備委員会 (CTBT) の聖座代表、2001年3月17日からはいウィーンの国連工業開発機関 (UNIDO) と国連事務所での聖座常任オブザーバーを務めた。2007年から2013年まで駐スーダン・エリトリア教皇大使、2013年7月11日より駐イラン教皇大使を務めていた。(カトリック中央協議会ウェブサイトより)

永遠の安息を祈り

ペトロ地主敏夫司教納骨式

去る9月26日(日)14時より、白石共同墓地(札幌市白石区平和通10丁目北)にて故ペトロ地主敏夫司教の納骨式(司式:勝谷太治司教)が執り行われた。コロナ禍のため札幌地区の司祭団と助祭、ご遺族を含め20名ほどで永遠の安息を祈った。

式の中で勝谷司教は「お話し好きで話題を独り占めしていた地主司教様がなくなつたことで、時々食事の際に寂しさを感じます。司教様から受け継いだ教区をしっかり支えていきたい」と語った。

改めて長い間札幌教区を導いてくださった地主司教のため、永遠の安息をお祈りください。



前京都教区司教

ライムンド田中 建一 名誉司教帰天



田中建一名誉司教は7月29日、愛媛県宇和島市内の病院で誤嚥性肺炎のため帰天。93歳、愛媛県宇和島市出身。1951年高松にて司祭叙階後、海外留学を経て大阪教区、高松教区にて司牧。76年9月23日、京都教区司教に叙階され、97年まで教区長を務めた。在任期間中は日本カトリック司教協議会で諸宗教対話を担当、諸宗教間の対話、交流、協力に尽力された。



札幌市白石本通墓地内に札幌教区の司祭・修道者・信徒ならびにその家族を対象とした共同墓(合葬)があります
札幌市白石区平和通10丁目北5-1

お問い合わせ・納骨申込受付は・・・

札幌教区本部事務局
(札幌教区カトリックセンター2F)
平日 9:00~17:00
電話 011-241-2785

札幌市中央区北一条東6丁目
札幌教区カトリックセンター地下

カトリック札幌司教区納骨堂 クリプト札幌

お問い合わせ・申込受付は・・・

クリプト札幌管理課
(札幌教区カトリックセンター2F)
平日 9:00~17:00
電話 011-221-4244



教区関係機関 担当司祭一覧

2021年10月1日 現在

委員会名等		役員・委員司祭名	任期	就任年月	满了年月	備考	
宗教法人責任役員会	代表役員	勝谷 太治	3 年	2013年10月14日		教区長	
	役員	今田 玄五		2016年10月14日		司教総代理	
	役員	加藤 鐵男		2019年5月1日	2022年10月13日		
	役員	佐藤 謙一		2019年5月1日	2022年10月13日		
	事務担当	松村 繁彦		2021年4月1日		事務局長	
教区顧問会	司教	勝谷 太治	5 年	2013年10月14日		教区長	
	司教総代理	今田 玄五		2019年5月1日		司教総代理	
	諮問委員	佐藤 謙一		2019年5月1日	2022年4月30日		
	諮問委員	後藤 義信		2019年5月1日	2022年4月30日		
	諮問委員	小林 薫		2019年5月1日	2022年4月30日		
	諮問委員	祐川 郁生		2019年5月1日	2022年4月30日		
	諮問委員	加藤 鐵男		2019年5月1日	2022年4月30日		
	諮問委員	ライ・フランス		2019年5月1日	2022年4月30日		
	諮問委員	湯澤 民夫		2019年5月1日	2022年4月30日		
	諮問委員	ホル・フランスワ		2019年5月1日	2022年4月30日		
事務担当	松村 繁彦		2021年4月1日		陪席者:ex 事務局長		
教区司祭評議会	司教	勝谷 太治	3 年	2013年10月14日			
	司教総代理	今田 玄五		2014年4月1日		司教総代理	
	事務局長	松村 繁彦		2021年4月1日		事務局長	
	札幌地区	地区長		加藤 鐵男	2020年4月1日	2023年3月31日	地区長
		地区委員		後藤 義信	2020年4月1日	2023年3月31日	
		地区委員		湯澤 民夫	2020年4月1日	2023年3月31日	
		地区委員		佐久間 力	2020年4月1日	2023年3月31日	
	運営委員長・地区委員			佐藤 謙一	2017年4月1日	2023年3月31日	
	北見地区	地区長		川上 剛	2020年4月1日	2023年3月31日	地区長代理
	釧路地区	地区長		内藤 孝文	2020年4月1日	2023年3月31日	地区長
	旭川地区	地区長		間野 正孝	2020年4月1日	2023年3月31日	地区長
	苦小牧地区	地区委員		長尾 俊宏	2020年4月1日	2023年3月31日	
		地区長		ライ・フランス	2020年4月1日	2023年3月31日	地区長
函館地区	地区委員	小林 薫	2020年4月1日	2023年3月31日			
地区長	祐川 郁生	2020年4月1日	2023年3月31日	地区長			
教区宣教司牧評議会	司教	勝谷 太治	3 年	2013年10月14日		教区長	
	司教総代理	今田 玄五		2014年4月1日		司教総代理	
	事務局長	松村 繁彦		2021年4月1日		事務局長	
	札幌地区	地区長		加藤 鐵男	2017年5月1日	2022年3月31日	地区長
		地区委員		後藤 義信	2020年4月1日	2022年3月31日	
		運営委員長・地区委員		佐久間 力	2020年4月1日	2022年3月31日	
	北見地区	地区長		川上 剛	2017年5月1日	2022年3月31日	地区長代理
	釧路地区	地区長		内藤 孝文	2017年5月1日	2022年3月31日	地区長
	旭川地区	地区長		間野 正孝	2014年4月1日	2022年3月31日	地区長
	苦小牧地区	地区委員		ルチア・カハツオウ	2020年4月1日	2022年3月31日	
地区長		ライ・フランス	2014年4月1日	2022年3月31日	地区長		
函館地区	地区委員	小林 薫	2020年4月1日	2022年3月31日			
地区長	祐川 郁生	2019年5月1日	2022年3月31日	地区長			
教区委員会	財政委員会	松村 繁彦	2 年			事務局長 教区会計	
	青少年委員会	佐藤 謙一		2020年4月1日	2022年3月31日		
		佐久間 力		2020年4月1日	2022年3月31日		
	教区神学生養成委員会	後藤 義信		2020年4月1日	2022年3月31日		
		蓑島 克哉		2020年4月1日	2022年3月31日		
	典 礼 委 員 会	苦小牧地区委員		ライ・フランス	2020年4月1日	2022年3月31日	苦小牧地区
		札幌地区委員		佐藤 謙一	2020年4月1日	2022年3月31日	札幌地区
		函館地区委員		リッターハウス・フィリップ	2020年4月1日	2022年3月31日	函館地区
		旭川地区委員		山本 孝	2020年5月1日	2022年3月31日	旭川地区
		釧路地区委員		今田 玄五(代理)	2020年4月1日	2022年3月31日	釧路地区
				内藤 孝文	2020年4月1日	2022年3月31日	釧路地区
	委員長・北見地区委員			上杉 昌弘	2020年5月1日	2022年3月31日	北見地区
	広報委員会	松村 繁彦		2021年4月1日		事務局長	
	聖書委員会	松村 繁彦		2021年4月1日		事務局長	
	社 会 委 員 会	難民移住移動者委員会		レイナルド・レガヤ	2020年4月1日	2022年3月31日	
		カタス・ジヤハン		松村 繁彦	2021年4月13日	2022年3月31日	
		札幌カタス		佐藤 謙一	2020年4月1日	2022年3月31日	
正義と平和協議会		加藤 鐵男	2020年5月1日	2022年3月31日			
エキュメニカル		松村 繁彦	2020年4月1日		事務局長		
司祭月例静修委員会		新海 雅典	2020年4月1日	2022年3月31日			
		蓑島 克哉	2020年5月1日	2022年3月31日			
		加藤 鐵男	2020年4月1日	2022年3月31日			
		佐久間 力	2020年4月1日	2022年3月31日			
その他	教区シノドス準備窓口担当	佐久間 力	2 年	2021年9月1日	2023年8月31日		
	教皇庁宣教事業窓口担当	佐久間 力	5 年	2021年	2026年		
	ハラメント対応デスク	司教任命で担当司祭を置く		2021年5月1日		(非公表対応)	

■お詫びと訂正 前号2頁「2021年度札幌教区内の司祭/男性修道者担当・所属一覧」において、「札幌教区」欄で「宮部登：岩見沢協力」の記載漏れがありました。ここにお詫びして訂正いたします。

【旭川地区】 2021年(第65回)旭川地区カトリック大会

今年の1月に旭川藤星高校の校長から「もし今年の地区大会を企画されるとしても、感染症を考慮して、一昨年のように本校を利用していただくのは困難」との連絡があり、間野地区長に伝えたところ、「では、今年のカトリック大会をどうしたらよいか、考えましょう。」との話があったところから、今年の大会についての検討が始まった。

状況的に一堂に会しての開催は困難、しかし昨年引き続き2年連続で中止としていいのか。何かできないか。何か方法はないか。地区長と地区宣司評ブロック代表者で検討した結果、「一日で終わるのではなく、期間を設定して地区信徒の皆で祈り、何かに取り組む。堅信式を含む司教ミサは人数を限定して実施し、その模様をネット配信し信徒に視聴してもらおう。」という方向になり、司教ミサは8月29日に旭川五条教会で実施と決まり、これを大会期間の最終日に設定となった。お気付きかもしれないが、これは「札幌教区100周年」の取り組みが下敷きとなったものである。

この意見が出た。これについて間野地区長から勝谷司教へ問い合わせがされ、さらに司教協議会典礼委員長の意見も参考にされ、「今大会限りの特例として」勝谷司教から認められた。そんな中、5月に緊急事態宣言が発令され、大会期間設定を変更し7月29日から10月31日とすることに。話し合いもままならぬ状況だったが、大会テーマの設定(実行委員から「司教の年頭司牧書簡からテーマを取ろう」との意見あり、「自ら考え出向いて行く共同体」いつも派遣されている私たち)となった。「2021年旭川地区カトリック大会の祈り」の作成とカード配布、期間中の取り組みの決定、聖堂に掲げるバナー、ポスターの配布等を実施した。

司教ミサ配信視聴に関しては各教会におけるネット環境の確認と、環境整備助成も地区として用意した。実際の配信作業は業者に委託、カメラ3台による中継の準備を行い、地区宣司評としては配信チャンネルを設定。また、第2朗読は教会に集うベトナム人にベトナム語での朗読を依頼、これに合わせての日本語字幕も準備した。ミサの参加者は受堅者と代父母、各小教会等から一名ずつの代表者、典礼奉仕者とスタッフのみだが、司祭団も入れて約50名となった。



ここまで「走りながら考えて」準備を行ってきたが、実施直前、北海道に3回目の緊急事態宣言が発令され、司教ミサについて全ての延期を決定。すぐに日程調整を行い、司教ミサ堅信式は宣言解除後の10月3日に実施された。ライブ配信視聴に合わせた各教会での対応は事務局としてまだ集約していないが、ある教会では聖堂祭壇前にスクリーンを設置し、会衆はミサと同じように動き、聖体奉仕者から聖体を拝領し、それは「リモートミサ」と言えるものだったとのこと。

2度の緊急事態宣言による制約を受けたが、司教ミサは実施された。しかしカトリック大会は続いており、取り組みの集約もこれから。可能であれば次号の教区ニュースにおいて、今回の旭川地区大会の全体について、教区の皆さんと分かち合うことができたらと思う。

(実行委員長 旭川六条教会・荒木関 充)

コロナ禍における各地区の様子 ～旭川地区・函館地区～

【函館地区】 「信仰を象徴する大切な十字架」

千軒岳十字架修復

道南に位置する大千軒岳。江戸時代初期、この地に逃れた多くのキリシタンが処刑された。今日では、当時砂金を集積していた「番所」跡と頂上付近の稜線の二カ所に十字架を建立し、その殉教を記念し、ほぼ毎年、「番所」跡でミサを挙げています。

初めは木で造った簡素な十字架でミサを挙げていたが、やがて鉄製の物を建立、その十字架も経年で劣化が進み、約20年前に現在のステンレス製の物に交換した。2年前、「番所」跡の十字架に亀裂が見つかり、更に昨年には稜線にある十字架が大きく傾いているのが分かった。

今年、番所跡の十字架の修理を終え、建立し直したが、稜線にある十字架の修復は来年への宿題となってしまう。

大千軒岳にある十字架はいかなる苦難にも屈せず、最後まで主を信じ、己の意思を貫いた「信仰」を象徴する大切な十字架である。(元町教会 ヴィンセンシオ・ア・パウロ 上野 博司)



今年、番所跡の十字架の修理を終え、建立し直したが、稜線にある十字架の

教区・全国・司教の行事予定

- 2021年
 - 11月 3日 カリタスジャパン全国セミナー (リモート)
 - 6日 教区宣教司牧評議会 (中止)
 - 15日～日韓司教交流会 (17日まで) (中止)
 - 23日 正義と平和協議会全国大会 (リモート)
 - 29日 司祭月例会
 - 30日 教区顧問会
 - 12月 27日 司祭忘年会 (中止)
 - 司教館仕事納め
 - 28日 司教館休館 (1月6日まで)
- 2022年
 - 1月 3日～フィリピンエクスポージャー (中止)
 - 7日 司教館仕事始め
 - 24日 司祭月例会
 - 25日 教区顧問会
 - 2月 11日 臨時教区宣教司牧評議会
 - 14日～司教総会 (18日まで)
 - 28日 司祭月例会
 - 3月 1日 教区顧問会・司祭評議会
 - 21日 祭壇奉仕者認定式 (予定)

ネットワークミーティング
「札幌が行われました
札幌教区の青年主催
テーマは「したっけ！」

9月19日、全国の青年が集うネットワークミーティングが行われました。ネットワークミーティングとは、カトリックの青年、青年の活動を支えている修道者・司祭等の交流と情報交換の場として年に2回、教区持ち回りで開催されている集いです。第41回目の今回は、札幌教区の青年が主催となり開催されました。札幌教区では約2年前から実行委員会を立ち上げ、札幌での開催を目指し準備を進めて

きました。今回のテーマは、北海道弁で「またね」や「そうしたら」を意味する「したっけ!」。「したっけね!」と再会の約束をして、「したっけさ」とこれからのことを分かち合える、そんな時間になりたいという想いを込めました。昨今の情勢を鑑みオンラインでの開催となりましたが、当日にはスタッフを含め40名の参加があり、画面越しに全国各地の青年と出会うことができました。約2時間のプログラムでは、はじめに勝谷司教様からお話をいただき、続いてレクリエーション、分かち合い、お祈りの時間を共に過ごし、各教区の青年活動の現状や、悩みなど、それぞれの



想いを話し合うことができませんでした。最後は、いつかまた、今度は顔を合わせて食卓を共にできる日を願い、「したっけ!」と挨拶を交し、幕を閉じました。次回のネットワークミーティングは、2022年2月、横浜教区主催での開催です。(北26条教会・池田ゆりの)

【2021年度 聖書週間】

11月21日～28日

テーマ

「家庭一試練や苦境における喜びの源」

コロナ禍だからこそ、この期間に個人で聖書に親しんでみませんか。

札幌教区聖書委員会：担当司祭 松村繁彦



カリタスジャパン

東日本大震災関連支援を継続

2011年3月11日の東日本大震災から10年、カリタスジャパンではこの間、延べ4万8千人のボランティアの協力を得て、35万人の方々へ支援を届けてきた。カリタスジャパンへ寄せられた寄付は国内外合わせ28億6千万円にのぼり、このうち9割を現地に届けている。しかし被災地はいまだ復興が終わらない状況から、カリタスジャパンでは「東日本大震災関連支援」として次の3つの条件を満たす団体を対象に今後も継続支援を行うことを決定し、2021年9月から支援申請の受付を開始した。

①東日本大震災関連支援にかかわる活動で、且つ被災者のニーズに対応した活動であり、②被災者、及び関係する地域住民等の参加が何らかの形で見込まれること、或いは被災者が主体的に行う活動であること、③カリタスジャパンからの支援金提供が終わっても、持続的に効果が期待できる事業であること。

カトリック関係者以外も申請可能だが、カリタスジャパン教区担当者の推薦が必要。申請詳細についてはカリタスジャパンホームページを参照のこと。(募金の受付は2021年3月末で終了している)
<https://www.cartas.jp/2021/09/03/4705/>

推薦図書

回勅「兄弟の皆さん」



教皇フランシスコが、アシジの聖フランシスコの語り掛け (Fraterelli tutti フラテリ・トゥッティ「兄弟の皆さん」) を書き出したのフレーズとして、同聖人の記念日2020年10月4日に発表された3番目の回勅の日本語訳です。

教皇様は、全8章の本文(①「閉じた世界の闇」②「道端の異邦人」③「開かれた世界を描き、生み出す」④「全世界に開かれた心」⑤「最良の政治」⑥「対話と社会的友愛」⑦「再び会う道」⑧「世界を兄弟愛のために働く宗教」)を通して、利己主義による分断が進み、他者の苦しみを顧みない現代社会を具体的に検証し、開かれた世界を築く道筋を希望をもって提言されています。イスラームの指導者との対話から刺激を受け、身体的な近しさを超え、生まれ住む社会といった場所を超え、一人ひとりを認め、尊重し、愛することを可能にする兄弟愛・社会的友愛にこの回勅をさやげられています。

『ともに生きる』が、難民移住移動者委員会コラムとして、今後も掲載されることになりましたので、改めて委員会をご紹介したいと思います。

この委員会は、日本に住んでいる外国人を対象としています。「**難民**」は、難民認定された人だけではなく、申請者や申請しただけでなく、申請資格を失った人などの理由で在留資格を失った人なども含んでいます。「**移住**」は、その言葉のとおり日本に移り住んだ人を示しています。日本に住んでいる人の中には、在留目的があり、期間が決まっています、いつか母国に帰る人もいます。一方で、仕事で、あるいは家族で日本にこれからもずっと住む人もいます。「**移動**」は、なかなかイメーajが付かないかもしれないませんが、旅行者や日本に物資を運ぶ大型貨物船の船員たちが移動者です。

委員会の働きは、全ての人が、神の子として平等に基本的人権が尊重され、国籍を超えた神の国をめざして、ともに生きるために取り組むことです。

30年くらい前になりますが、札幌には「在日外国人の人権を守る会・北海道(通称:SPR)」という市民団体がありました。ススキノで働く外国人女性たちがいろいろな面で搾取されているという課題を抱えて話題にな

っていた頃です。自分と同じ年頃の女性たちが、自分のためではなく、家族のために働き、我慢している姿に驚き、「なぜ？」という思いから、その活動に関わりました。これが、今に至った私の原点です。ススキノで働く外国人女性が月一回、北一条教会で行われている英語ミサに來るといふ新聞記事を見つければ、初めてカトリック教会に足を運びました。そこで、フランシスコ会のマンフレード神父に出会い、「House Friendship」で主に留学生とその家族の支援に関わりま

した。教会の内外でボランティアとして外国人支援を長く続けた結果、私は、2016年9月に日本カトリック難民移住移動者委員会の委員として任命されました。そして、2019年4月から札幌教区の職員として働くようになり、この委員会を担当しています。

ともに生きる 難民移動移住者 委員会って、なに？

「世界難民移住移動者の日(9月の最終日曜日)」は、「わたしたちが」全世界の人々と「ともに生きる」決意を新たにしている日です。今年の教皇メッセージは、「ひたすら『わたしたち』であり、わたしたちが『ともに生きる』ことをテーマにいろいろなことをお伝えしていきたいと思っています。」(西千津)

「世界難民移住移動者の日(9月の最終日曜日)」は、「わたしたちが」全世界の人々と「ともに生きる」決意を新たにしている日です。今年の教皇メッセージは、「ひたすら『わたしたち』であり、わたしたちが『ともに生きる』ことをテーマにいろいろなことをお伝えしていきたいと思っています。」(西千津)

北国のシスターズ

イエズスの聖心の中にこそ 聖心会

聖心会



聖心会は、イエスの聖心に捧げられた修道会で、1800年にフランスのパリで聖マгдаレナ・ソフィア・バラによって創立されました。1801年には最初の聖心女子学院がアメリカに設立されました。初めから国際的な会として広まり、創立者の生存中にすでに世界16か国に、修道女の数は3500人がおりました。修道会の来日は1908年1月で、東京に最初の修道院と学校を始めました。

そしてこの北国札幌では札幌聖心女子学院が設立された1963年に7人のシスターが送られて修道院が始まりました。創立を前に宮の森を訪れた当時のデュ・ヴァロン総長は自然豊かな丘から札幌を展望し、「ここは世界に開かれた窓です」と言いました。その言葉の通り、創立以来、この丘で学ぶ生徒たちは日々の学校生活を通して世界に目を開き、どんな人も大切にされる世界を築いていく賢明な女性として成長していきます。(写真は聖心会特有の聖母マリアの絵「感ずべき御母」に百合を捧げる行事です。この絵は聖心のすべての姉妹校にあり、成長期にある女性の模範としてのマリアを観想しながら生徒たちはそれぞれの心の百合を持って行列します。教員もシスターたちも

参加します。)

聖心会はいま世界の41か国に2000人の会員がおります。それぞれの国のニーズに合わせるため、様々な教育の奉仕を通して会憲の次の言葉を生きています。

「私たちは、教会によって遣わされています。それは、イエズスの聖心の愛を伝えるためです。聖心の中にこそ、人間が育つ力の泉、人びとの和解が可能になる道があります。私たちはこれを信じます。そしてそれをべ伝えたいのです。」

日本では兵庫県、静岡県、東京



札幌に修道院があり、約1000人の会員が、学校での教育はもとより、さまざまな働きと祈りを通して創立者が抱いたヴィジョンを受け継ぎ、主のみこころの愛を分かち合うよう努めています。

学校教育では聖心女子大学、聖心インターナショナルスクール、東京聖心女子学院、不二聖心女子学院、小林聖心女子学院と、ここ札幌聖心女子学院があります。そのほか、姉妹校と社会を繋ぐ「聖心会みこころセンター」の活動、聖書サークル、黙想指導など福音宣教に励んでいます。高齢で活動できない会員も日々の祈りを通して使命を果たしています。

(現在札幌修道院のメンバーは4人です。写真下)



カトリック小樽教会の 二つの鐘

～困難乗り越えこれからも～



住ノ江聖堂の鐘



富岡聖堂の鐘



カトリック小樽教会には歴史ある二つの聖堂があります。ゴシック様式で赤い屋根の富岡聖堂と蔦の絡まる白い壁の住ノ江聖堂です。歴史ある小樽と共に歩いてきた両聖堂は市民に愛されており、富岡聖堂は小樽市の文化財に指定されています。

猛暑の中、8月6日(金)広島原爆記念日8時15分と8月9日(月)長崎原爆記念日11時02分、ちょうど76年前に投下された時間に合わせて、カトリック小樽教会両聖堂で原爆犠牲者へ黙祷を捧げると共に「鎮魂の鐘」が、また8月15日の終戦記念日には「平和の鐘」が世界恒久平和の祈りと共に小樽の街に鳴り響きました。

朝・昼・夕の3回、小樽の街に響いてきたそうです。第二次世界大戦中、金属である鐘を兵器にするため憲兵に持って行かれそうになったそうですが、ちょうどその時終戦を迎え、ぎりぎりどそのところで鐘は守られたそうです。

住ノ江聖堂の鐘を鳴らす場所は信者でも一部の者しか知りません。実は司祭の部屋の前天井から鐘を鳴らす紐が下がっているのです。今年の春まで住ノ江聖堂に常駐して下さっていた司祭も司祭数の激減のため常駐できなくなり、心なしか鐘の音も寂しく聞こえます。

長い歴史の中で様々な困難に遭いながらも澄んだ音色を響かせてきた2つの鐘。これからもイエス様の心を伝え、小樽市民の慰めになりますように。

(信徒寄稿文)

計報

殉教者聖ゲオルギオの フランシスコ修道会



Sr.M.ヨゼファ
阿部典子

入院中の月形町立病院にて、細菌性肺炎のため8月23日午前0時7分、神様のみもとに召されました。享年87歳。奉獻生活59年。

【略歴】

1933年12月15日 生まれ
1957年4月20日 受洗
1962年10月27日 入会
1965年8月12日 初誓願
1971年8月12日 終生誓願
2014年11月22日 誓願金祝

マリアの宣教師 フランシスコ修道会



Sr.M.フランシスカ
田村勝枝

創成東病院にて、8月15日午前10時23分、眠るように、いつも願っていた御父のみもとに帰りました。享年86歳。奉獻生活62年。

【略歴】

1934年10月4日 生まれ
1957年9月17日 入会
1963年9月17日 終生誓願



Sr.マリア
岡山昌

ラスール苗穂にて、9月19日午後5時15分、神様のみもとに召されました。宣教師として最後まで祈りの人でした。享年87歳。奉獻生活66年。

【略歴】

1933年12月9日 生まれ
1955年6月13日 入会
1960年6月13日 終生誓願

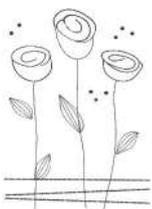


Sr.ジェンマ
ガガミ鹿床子

天使病院にて、9月24日午後2時1分、神様のみもとに召されました。陽気でもいつも周囲を和ませ、宣教師として沈黙と祈りの務めを最後まで果たされました。享年99歳。奉獻生活69年。

【略歴】

1922年8月25日 生まれ
1952年12月15日 入会
1957年12月15日 終生誓願



あとかたり 編集後語

コロナ禍でも情報網を駆使して人が繋がりをもち、それにより孤独を回避している人は大勢いるが、この情報や連絡が止まると途端に愚痴が出始める。「私は見捨てられた!」。受けることに慣れるとこうなる。愚痴の前に自分もだれかに情報を発信してみよう。細やかな言葉「どうして?」「という言葉は今や命綱に近い言葉。「与えられるよりも与えること」ではないだろうか。

この「札幌教区ニュース」という情報が大切なのではなく、このニュースを共有する相手を見つける事。まだまだ世の中には情報を貰えていない人もいますので、今こそ一人一人の発信力が問われている。伝言ゲームは苦手な人もいるだろう。でもゲームに参加しなければ、前後の人と話すこともなかった。いのちを守るって、立派な行いばかりではない。教皇訪日のテーマ「すべてのいのちを守るため」とは、細やかなことに忠実であるかどうかなのだろう。

(広報委員長 松村 繁彦)

カトリック札幌 司教区100周年 記念ビデオ

小教区及び修道会
などの団体へ一般
な贈り物や教区
の希望の方は、ま
ご事務局長に
ご連絡ください。
011-241-2785